

■ 掲示板

□ 国内外の関連会議情報

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの中止や延期が相次いでいます。
ご参加を予定している場合は、主催元のホームページ等で最新の情報をお確かめ下さい。

開催期間	行事名	開催場所	関連ウェブページ
2021 年 2/25-3/3	ISBA20—International School on Beam dynamics and Accelerator technology	広島国際プラザ (広島県東広島市)	https://conference-indico.kek.jp/event/115/
2/18-19	第1回 A-FNS 研究会 ~核融合材料への中性子照射と応用利用技術~	オンライン開催 (WebEx)	https://www.fusion.qst.go.jp/rokkasyo/AFNS/AFNS.html
3/9-11	2020 年度量子ビームサイエンスフェスタ	オンライン開催	http://qbs-festa.kek.jp/2020/1stcircular.html
3/22-23	FEL と High-Power Radiation 研究会	東京理科大学森戸記念館 (東京都新宿区神楽坂4-2-2)	
5/24-28	IPAC21—The 12th International Particle Accelerator Conference 2021	Virtual	http://www.ipac21.org/
6/7-11	NP2020—Nuclear Photonics 2020	オンライン開催	http://www.photon.osaka-u.ac.jp/NP2020Kurashiki/index.html
8/9-11	第18回日本加速器学会年会 (PASJ2021)	群馬県コンベンション施設 G メッセ群馬	
10/3-8	WAO2021—The 12th Workshop on Accelerator Operations	Barcelona, Spain	https://www.wao2020.com/
10/16-22	ICALEPCS2021—The 18th International Conference on Accelerator and Large Experimental Physics Control System	Shanghai, China	
11/28-12/2	ISSS-9—The 9th International Symposium on Surface Science	サンポート高松 (サンポートホール高松&かがわ国際会議場) (香川県高松市)	https://www.jvss.jp/iss9/
2022 年 6/12-17	IPAC22—The 13th International Particle Accelerator Conference 2022	Bangkok, Thailand	http://www.ipac22.org/
8/28-9/2	International Linear Accelerator Conference 2022	Liverpool, UK	http://www.linac2022.org/
2023 年 5/7-12	IPAC23—The 14th International Particle Accelerator Conference 2023	Venice Lido, Italia	

■会告

■会員移動 (2020 年9月~11月)

〔一般会員入会〕

若狭 智嗣 (九州大学)

中根 圭一 (読売新聞盛岡支局)

〔学生会員入会〕

熱田 真大 (広島大学)

青木 秀樹 (広島大学)

大洞 翔太郎 (広島大学)

〔個人会員退会〕

1名

■編集後記

私が加速器を始めた40年前のこと、「サイクロトロン VS リニアック」というタイトルの講演を拝聴したことがある。私が職を得た理研にはどちらの加速器もあったので、たいへん興味深いテーマでした。確か内容は、歴史的には、常にアイディアで先行しているのはリニアックで、しかし、事の実現では常にサイクロトロンがリードした。でもリニアックはすぐそれに追いつき追い越す。この戦いは今後も際限なく続くと予言されたものでした。どちらの加速器も高エネルギー化ではシンクロトロンにかなわないが、大強度不安定核ビームを得るためにドライバー加速器として求められる重イオンビームの大強度化の競争で、や

はり理研 RIBF のサイクロトロン (低エネルギー部はリニアック) が予言通り先行した。それをミシガンの FRIB が超電導リニアックで猛追しているのが現状だ。FRIB では複数の電荷状態のビームを一つのビームとして加速しようとしているのに対して、RIBF は、荷電変換で捨てたビームをリサイクルしてビームの強度化を検討しているとのこと。まだまだこの競争は目が離せない。今回の特集記事は、そういった目でみると別の興味がわく。

理研仁科加速器科学研究センター
加瀬 昌之